



2020年10月  
聖マリア学園  
吉野幼稚園

主 題 : 自立する  
聖書のことば : 自分にしてほしいことは 他の人にもそのようにしなさい  
(マタイ7-12)



二学期が始まり、すぐにまだまだ暑い中での運動会の練習となりました。最初は、まだ慣れない様子の子の子どもも見受けられましたが、だんだんと本調子になってきたようでした。コロナ禍の中での本番となりますが、運動会が、晴天に恵まれますようお願いしたいと思います。

さて今回は、毎日の園生活の中で子どもたちがいつも唱えている「お祈り」について、少し説明したいと思います。吉野幼稚園は、教会幼稚園ですので、神様の話や神様へのお祈りを大切にしています。お祈りの前後には、「十字架のしるし(十字を切る)」をします。【十字架のしるしとは、「父と子と聖霊のみ名によってアーメン」と言いながら、右手で自分の額(父と)と胸(子と)、左肩(聖霊の)、右肩(み名によって)を順に触れて、その後両手を合わせます(アーメン)】

カトリック教会では、いろいろなお祈りがありますが、一番たいせつで中心となる、また一番親しまれている「お祈り」が二つあります。「主の祈り」と「アヴェマリアの祈り」です。主の祈りは「天におられる私たちの父よ、み名が聖とされますように……」(この後は、子どもさんに聞いてみてください)という祈りで、イエス様ご自身が私たちのために、教えてくださった唯一の祈りです。神さまに向かって、「私たちの父よ」と祈ることができるなんて、なんと素晴らしいことでしょう。天のお父様がどのような方なのか、聖書や絵本、さまざまな体験を通して、これからずっと、そしてより深く学んでいきましょう。

決まった言葉の祈りだけではなく、心に沸いた気持ちを自分の言葉で祈ることも、特に大切です。なぜなら祈りは神さまと自分の対話だからです。神さまと人との対話では、必ず神さまのほうから私たちに語りかけてくださっています。たとえ、その声が聞こえなくても！ 神さまへのお返事として、お祈りをすることが大事だと思います。

幼稚園の活動や家庭での生活など、いろいろな場面で「お祈り」を日常的にさせたいものです。このことは、情操教育の面からもとても大切なことだと思います。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

園長 野田弘之

#### 今月のねらい

日常生活を見直し 挨拶 歩く 椅子 掃除の仕方など 一つ一つの動きを丁寧に見せていく  
自分の興味関心に 基づいて お仕事を最後まで行う  
園外活動を通して秋の自然の移り変わりを感じたり 実りを味わい 豊かな心を育てる